
日本科学者会議 第15回総合学術研究集会(京都) 1st Circular

開催日：2004年11月26日(金)～28日(日)

主会場：立命館大学国際平和ミュージアム

テーマ：持続可能な文明をめざして

— 阻害要因の解明と克服の展望

— 平和、環境、経済、科学・技術、教育・文化のあり方を問う —

[開催趣旨]

「持続可能な文明」という理念が提起されて、久しい。「環境と開発に関する世界委員会」(ブルントラント委員会)は、1987年、環境と資源の利用を「復元可能な限度内」に保ち、経済社会の持続的発展を可能にするという考え方を打ち出した。それは、1992年の「地球サミット」(リオデジャネイロ)の主題となり、最終宣言には、「持続可能な開発」は人類の中心的関心事であり、すべての人間が、自然と調和した健康で生産的な生活を送る権利をもつ等の原則が盛り込まれた。

しかし、理念としての「持続可能な文明」を実現するためには、われわれの文明が内包する多くの課題を解決しなければならない。「文明」を思想・文化・社会・政治・経済・科学技術等、人間生活の営為の総体を含意するものと理解すれば、われわれは生活のありよう全般に顕在または潜在している「持続可能性阻害要因」を総合的に摘出し、その本質を見極め、克服するための方途を明らかにして確実に実践することが求められている。われわれが、第15回総合学術研究集会において「平和、環境、経済、科学・技術、教育・文化のあり方を問う」のはまさにそのための作業であり、それはまさに、個別科学の専門領域を越えた研究活動と実践活動に取り組んできた日本科学者会議に最も相応しい課題であり、集積された活動成果の総結集の作業に外ならない。

実行委員会は、日本科学者会議会員が個人的・集団的に取り組んできたすべての活動成果をここに結集し、第15回総合学術研究集会が、「持続可能な文明」の探求の面での新たな示唆を社会に提起できることを期待する。

(実行委員長・安斎育郎)

経 緯

第15回総合学術研究集会（15総学）は、2003年5月24, 25日の第35回定期大会において2004年秋に京都で開催することが決定されました。その後、6月21, 22日と11月29, 30日の第39期第2回および第3回の全国常任幹事会で総合テーマに関する議論が行われ、開催日を2004年11月26日～28日にすることと、総合テーマの決定を実行委員会に委任することが承認されました。

京都支部を中心とした実行委員会は、6月28日の準備会を経て、8月1日に発足し、2003年中に5回の会合をもちました。実行委員会では、これまでに主に総合テーマと集会の構成について議論を重ね、一定のまとまりを得ましたので、会員の皆様に 1st Circular としてお知らせします。

開催日、会場と総合テーマ

開催日：2004年11月26日（金）～28日（日）

主会場：立命館大学国際平和ミュージアム

（26日午後は、京都駅前の「キャンパスプラザ京都」において全体集会を予定）

総合テーマ：持続可能な文明をめざして－阻害要因の解明と克服の展望
－平和、環境、経済、科学・技術、教育・文化のあり方を問う－

開催目標

1. 総学そのものへの参加登録者500名以上をめざす。
2. すべての支部から参加者を迎える。
3. 若手研究者が元気の出る取り組みとする。

集会の構成

1. 開会全体集会
（総合テーマに関する基調報告とパネルディスカッション）
2. テーマ分科会
（総合テーマに沿った議論を行う分科会）
課題：(1)平和、(2)環境、(3)経済、(4)科学・技術(5)教育・文化
3. 一般分科会
（コーディネータを含めて募集する特定の課題に関する分科会）
4. 自由論題セッション・ポスターセッション
（分科会に属さないテーマに関する会員の自由な発表の場）
5. 立命館大学国際平和ミュージアムの展示の見学
6. 閉会全体集会（テーマ分科会の報告と全体討論）

分科会、自由論題セッション、ポスターセッションでの研究発表の公募は、4月10日発行の 2nd Circular で行います。テーマ分科会の課題(1)～(5)のそれぞれの趣旨とコーディネータについても 2nd Circular でお知らせします。

一般分科会の公募について

開催趣旨にある通り、実行委員会は、15総学では「持続可能な文明」の探求という総合テーマに沿った形で、会員が日頃の研究活動と実践活動の成果を持ち寄りまとまりのある議論が行われることを期待しています。この議論の場として、「テーマ分科会」が設置されます。

これとは別に、総合テーマとは別の方向性で特定の課題について議論する場として、「一般分科会」を設けます。この「一般分科会」は会員からの公募により設置します。この分科会の設置を希望される方は、(1)分科会のテーマと趣旨、(2)その分科会での発表予定件数、(3)コーディネータの氏名と連絡先を明記の上、2月末日までに、実行委員会事務局までお申し込み下さい。

実行委員会の構成

実行委員長 安齋育郎（代表幹事・立命館大学）
全国責任者 伊藤達夫（研究企画部長・京都府立大学）【企画担当】
事務局長 向井俊彦（立命館大学）
事務局次長 上野鉄男（京都大学）【財政担当】
伊藤武夫（立命館大学）【広報・会場担当】

実行委員

羽村 守、大西 広（京都大学）
堀 雅晴（立命館大学）
鈴木博之（同志社大学）
水野弘之（京都府立大学）
田中雄三、細川 孝、好廣眞一（龍谷大学）
前田耕治（京都工芸繊維大学）
村田芙美（京都大学大学院）
市井吉興、布川 淑（立命館大学大学院）
瀧本清彦、富田道男、深尾正之、山縣 守、山谷洋二（京都支部）
太田和宏（兵庫支部）、岩本智之（大阪支部）、梅田 修（滋賀支部）
瀬渡章子（奈良支部）、森 隆昌（愛知支部）
片平冽彦（事務局長・東洋大学）
五十子満大（総務財政部長）
近藤宏一（組織部長・立命館大学）
西岡啓二（国際部長・慶應義塾大学）
宗川吉汪（『日本の科学者』編集委員）

15 総学のホームページ

<http://www.jsa.gr.jp/15sougaku/>

15 総学プレ企画

1. 第25回京都総合科学シンポジウム
開催日：2004年3月13日（土）
会場：同志社大学今出川学舎（予定）
テーマ：持続可能な社会をめざして－現代文明を問う－
内容：
午前 <哲学・思想>を中心とする基調報告（全体集会）
午後前半 第1分科会<環境>、<エネルギー・食料>
第2分科会 <医療>、<教育>
午後後半 <経済・経営>を含む総合討論（全体集会）
主催：日本科学者会議京都支部
2. 第3回国際シンポジウム「アジアにおける科学・技術の交流、協力」
（ECSTA: Exchange and Cooperation of Science and Technology in Asia）プレシンポジウム
開催日：2004年6月27日（日）
会場：キャンパスプラザ京都
テーマ：未定
主催：日本科学者会議
3. 青少年の理科教育に関するイベント（企画中）
「科学的なものの考え方」（実演付き）
ジャパン・スケプティクス（超常現象を批判的・科学的に究明する会）
との共同開催を予定

第15回総合学術研究集会実行委員会事務局の連絡先

e-mail jsa-sg@egroups.co.jp

- ① 603-8577 京都市北区等持院北町56-1
立命館大学国際平和ミュージアム館長室内
第15回総合学術研究集会実行委員会事務局
TEL/FAX 075-465-8355（担当秘書：松村 [水曜日10:30-17:30]）
- ② 604-0931 京都市中京区寺町二条東入ル 南館3階
日本科学者会議京都支部
TEL/FAX 075-256-3132（担当者：伊藤 [火・金曜日11:00-16:00]）

日本科学者会議

THE JAPAN SCIENTISTS' ASSOCIATION (JSA)
113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階
TEL 03-3812-1472 FAX 03-3813-2363
e-mail mail@jsa.gr.jp
<http://www.jsa.gr.jp>
